

THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO-GREEN

東京グリーン

CHARTERED 1973

< 2018.08 >

BULLETIN

2018年7月～2019年6月



国際会長	Moon Sang Bong「私たちは変えられる／挑戦への勇氣」(韓国)
アジア会長	田中博之「アクション／誇りと喜びを持って」(東日本区)
東日本区理事	宮内友弥「為せば、成る／ワイズが何をしてくれるかではなく、あなたがワイズに対して何が出来るかを考えて実行しよう」(東京武蔵野多摩)
関東東部部長	衣笠輝夫「良いものを見つけ、つなげて、よくなろう」(埼玉)
クラブ会長	佐野 守「希望を持って前進」(グリーン)

会 長 佐野 守
副 会 長 西澤 紘一
々 浅見 隆夫
書 記 布上征一郎
会 計 柿沼 敬喜
副 会 計 浅見 隆夫
担当主事 木村 卓司

8月 平和月間

平和のうちに身を横たえ、わたしは眠ります。主よ、あなただけが、
確かに わたしをここに住まわせてくださるのです。(詩編4:9)

< 神さまに守られて、ゆっくり休める平和を求めます >

2018年08月 納涼例会

日時:2018年08月22日(水) 18:00～20:30
場所:銀座ライオン 秋葉原ラジオ会館店B1
千代田区外神田 1-15-16 TEL03-5298-5155
受付:青木君/会計:柿沼君/司会:浅見ク君
開会点鐘 佐野会長
聖句・食前の感謝 西澤君
公式訪問(関東東部役員の皆様)
衣笠輝夫 部長/金丸満雄 主査
渋谷弘祐 主査/佐竹 誠 主査
浅見隆夫直前会長慰労・記念品贈呈 佐野会長

*****会食*****

事業委員会報告
YMCA 情報
Happy Birthday<浅見隆夫メン・森川正子メン>
閉会挨拶
閉会点鐘

事業委員長
木村 君
西本 君
佐野会長

*9月以降の例会会場は東陽町の YMCA ホールです。
第三例会(神田川委員会)と第二例会(役員会)は
従来通り、和泉橋区民館です。

東陽町コミュニティーセンターの活動

東京YMCA東陽町センター

コミュニティー委員 青木方枝



8月はCS・Yサービス強調月間に当たります。それに関連して、東京YMCA東陽町センターでのコミュニティー活動の諸々をご紹介します。

陽春の集い(2/23)・Yわい歌の広場(毎月第2木曜日)・チャリティーラン(9/23)・

クリスマスオープンハウス(12/23)が恒例であります。
新規としておもちゃ病院(毎月第4木曜日)・災害スタディ(9/1)・これからオープンするにほんご de Cafe(第1、第3木曜日)。これは日本に来て「日本語」に困っている皆さんとお茶を飲みながら楽しくお話を・・・という場所を作りました。センターの1階、ロビーの奥です。

8/25にプレオープン、9月から正式オープンします。
また、東陽町には、にほん語学院・TYIS・KIDS語学・社会体育・保育専門学校があり、東陽町コミュニティーに属している、東京、ひがし、むかで、北、グリーン5クラブのワイズメンと共に活動しております。

これからもボランティアの学生さんたちと一緒に楽しく活動していきたいです。クラブメンバーの皆さんもいろいろな行事にご協力をお願いいたします。

【例会出席率】

在籍:18名 メーキャップ 2名 出席率 17/18 94%

出席:7月(メン15名、メネット1名、ゲスト1名)計17名

【ニコニコ】

7月例会 25,000円(全額を西日本大災害への支援金として東京YMCAに寄贈)

＜2018年07月 第一例会 報告＞

日時:2018年7月18日(水) 18:30~20:30

場所:東京YMCA東陽町センター

出席:青木・浅見(ク)・浅見(隆)・柿沼・木村・古平・佐野
高谷・西澤・西本(東)・西本(晃)・布上(征)・樋口・
目黒・森川 ネット:布上(信) ゲスト:沖 館長



新年度のキックオフ例会。今期から第一例会(本例会)は東陽町センターYMホールで行うことになった。その記念という訳ではないが東陽町センター館長の沖利柯さんにお話を伺うことになった。

演題のタイトルは「YMCAでの歩みの中から」。
配られたペーパーには以下のように書かれている。

1. 私の生き立ち
2. YMCAとの出会い、そして東京YMCAでの経験から人に生きる喜び・生き甲斐を与えられる団体
人を育てる団体 信仰に基づき 使命を持った団体
3. 願い
内向きではなく外に向けた活動
社会制度では救えない孤独からの開放
「みつかる、つながる、よくなっていく」..のために..!

沖 利柯さんは広島市の生まれ。戦前お父様は文学座に役者として在籍、戦後は広島の劇団の主宰のお仕事をされていた。その影響か若いころは歌手や役者を目指し、就職ではアナウンサーに挑戦したが、全てかなわなかった。その時在学していた広島女学院大学の求人ボードに、広島YMCAの二次試験の募集が残っており、企業ではないという理由で入職。その後結婚。ご主人の転勤で東京へ。日本YMCA同盟を経て東京YMCAには26年前に入職した。

配属された町田YMCAで、当時地域課題であった「呼び寄せ老人」に対応するプログラムが何かできないかと、まちだワイズの方々に相談したところ、すぐに呼応していただき委員会が設置され、ベテランティア活動などが生まれた。活動参加者からの生きがいをもたらしたという声を聞くこともでき、YMCAの会員活動の意義と素晴らしさを、身をもって感じたときであった。

しばらくしてステップⅡという主事研修期間中に、神山復生病院というハンセン病療養所(当時)を訪ねたとき、ある重症の患者さんが立ち上がろうとしてよろめいた。そのとき、とっさに身を引いた自分に愕然とした。しかし、ためらいもせず手を差し伸べた一人のスタッフがいた。自分との違いは何だろうと考えたとき、信仰から生まれる心の強さではないかと感じた。そして、自分の弱さを知ることによって受洗を決意した。同時にYMCAがキリスト教というゆるぎない使命に基づいた団体であり、そこにクリスチャンとし

て働く意義についても考えさせられた。

そして、日々阿部志郎先生の「孤立は社会的制度で救えるが孤独は救えない。」という言葉をお忘れず、そのためにYMCAは何ができるのかを考え行動に移すようにしている。そのために、ワイズメンズクラブのみならずにも、お力やお知恵をお貸しいただき、ネットワークを助け、一緒に社会課題に先見性的に対応できるようにお力添えをお願いしたいと思っています。人々が「みつかる、つながる、よくなっていく」のために。

例会での協議内容は下記に掲載しました。(布上 記)

＜2018年07月 第二例会 報告＞

2018年7月11日(水)18:30~千代田区和泉橋区民館

出席:青木・浅見(ク)・浅見(隆)・柿沼・木村・佐野・布上
樋口・目黒・森川

1.資料配布

①関東東部第1回評議会 東陽町センター 7月14日
(土)13:00 受付/13:30~ 佐野・柿沼・布上出席

②東京YMCA夏まつり

8月25日(土) 10:00東陽町集合<フランク焼き>

*ラッフル抽せん会:10/13「神田川船の会」
ペア乗船チケット2組提供(4名)

③第32回インターナショナルチャリティーラン

9月23日(日) 8:30集合木場公園 場内警備・荷物係

*ラッフル抽せん会:10/13「神田川船の会」
ペア乗船チケット2組提供(4名)

④グリーンクラブキャビネット承認

会長:佐野 守 副会長:西澤紘一 浅見隆夫

書記:布上征一郎 会計:柿沼敬喜 副会計:浅見隆夫

3. 審議・協議事項

①第78回神田川関連 10月13日(土)開催詳細

その他のCSイベント関連 目黒実行委員長

②7月例会【東陽町】キックオフ卓話

沖 東京YMCA 東陽町センター 館長

*ワイズ倉庫(グリーン)の整理 15:00~有志

③2018年9月9日 京都部部会

*熱海クラブとDBC締結/13:30 部会の前に式を

*DBC京都パレスクラブとトライアングル締結/部会
青木・浅見(隆)・柿沼・佐野・布上 参加

④「前期会計報告と今期クラブ予算案」協議

柿沼会計 例会で配布

⑤その他

8月例会日変更:8月22日(水)納涼例会

「秋葉原ライオン」18:00~ 予約:西本メン一任

*衣笠部長公式訪問

9月卓話者:佐野メン紹介

佐野和夫氏(パラリンピック2020への道)

10月卓話者:樋口メン紹介

青木勝彦氏「私の追憶の名画」決定

(布上 記)



東京 YMCA 東陽町センターコミュニティ主催、東京ひがしクラブ・会員ボランティア協力の「下町こどもダイニング」がスタートしました。

かねてから各地域で開催されている「こども食堂」活動に興味を持っていたので7月9日開催に合わせて連絡を入れたところ、17:00 開催に向けてすでに協力ボランティアが14:00 に集合し食事材料の調達に出かけていました。

16:30 会場に到着したところチラシ寿司・サラダ・ソーメン・きな粉まぶし揚げ餅調理の真っ最中で早速、錦糸卵作りを担当させられました。

金丸メンのクレープ作りの手際の良さで次々と薄焼き卵が作られていき、ベテラン女性ボランティアの手ほどきを受けて卵を筒状に巻き包丁を入れて仕上がり。恐る恐る包丁を入れるが上手く細切りに出来ず、錦糸卵ならぬ「ほうとううどん」状の仕上がりになりました。

抽選で父兄を含め60名程募集し足切りするほど人気のプログラムです。子供たち30名程は社体専の学生リーダーの指導でゲーム・歌で盛り上がり、18:00 食前感謝のお祈りが終わると行儀よく並びプレートを受け取り、美味しい美味しいと大満足でした。

我々大人もご相伴、お代り自由でソーメン・デザートも大好評で終了。

食後の感謝で一斉に後片付け開始、ひがしクラブメンバーは勿論、山手センターリーダーOB、YMCA 主事の奥方たちがゲストボランティアの私達が立ち入る隙もなくアッと云う間に食器・机・椅子が納まりました。

最後に地域協力企業（食材提供）の代表者のご挨拶があり終了しました。

子供たちの満ち足りた笑顔と父兄の嬉しそうな笑顔、グリーンメンバーも是非一度は経験されると良いプログラムだと思います。

次回は8月20日開催予定です。（浅見隆夫 記）

Happy Birthday

8月 浅見隆夫(メン) 森川正子(メン)

クラブの円滑な運営のため、年会費をお納め下さい
京葉銀行 こてはし台支店

店番号 435 (普)6614121

口座名 東京グリーンワイズメンズクラブ

会計 柿沼敬喜

2018年7月14日(土) 13:30-17:00 に東京 YMCA 東陽町コミュニティセンターYM ホールに於いて関東東部第1回評議会が開催された。

衣笠輝夫関東東部部長・山本剛史郎書記・吉田公代会計の布陣で各事業主査は東裕二地域奉仕・金丸満雄会員増強・渋谷弘祐国際交流・佐竹誠ユース・青木清子メネット事業主査という皆様である。

評議会は、山本書記の司会で開会。衣笠部長から「良いものを見つけ・つなげて・よくなる」とのYMCA ブランディングコンセプトに因んだ主題発表。続けて今期重点目標、部行事予定が発表された。

各事業主査の事業方針、各クラブの会長より活動方針が発表された。休憩後、衣笠部長を議長に選出し提出議案の決算報告、会計報告審議が行われた。今期予算案は、修正等の意見交換が行われ承認された。最後に衣笠部長より9/29 第22 回関東東部部会のアピールで第1回評議会は終了した。グリーンクラブ出席者は佐野会長、布上書記、柿沼会計の3名。

東京 YMCA 東陽町で<歌の広場>



毎月第二木曜日、東陽町センターで歌の広場が開催されています。近隣のお年寄、60名位の方がお元気に集まって楽しんでいらっしやいます。YMCA の木村卓司君の軽妙な司会、ミニ体操なども評判。毎回、ピアノ伴奏や歌の指導を布川慶子、お世話をしている女性陣は、吉田絃子・布上信子・宮本房代・龍野真知子の皆様。（布上征一郎 記）

VIVA ! classic

<レコードの紹介 樋口順英>

第1回「ベートーベン 田園」



ベートーベン作曲
交響曲第6番へ長調
作品68「田園」
ブルーノ・ワルター指揮
コロンビア交響楽団
(1958年1月録音)

高校入学時にステレオを買ってもらいました。同時にお小遣いで数枚のLPレコードを買い、勉強をほったらかしで擦り切れるほど聴きまわりました。

その中でもっとも気に入っていたのがこの「田園」でした。これさえなければ、私はもっとと学業に熱心に取り組み、成績も上がっていたことでしょう。

今これを聞きながら、自分の育った地元や旅行先の田園風景を思い出したりします。

曲はベートーベン38歳のとき、ウィーン郊外の田舎ハイゲンシュタットで作曲されました。

5楽章からできており、それぞれに標題がついています。でもこれを描写音楽としてではなく自然に対する感謝の気持ちで聴くのですよ、というのがこの曲の解説の共通点のようです。いずれにせよ各人思い思いの気持ちでお聴きいただくとよいと思います。

たとえば、ゴルフ場でお聴きになればスコアの後悔などまったくなくなり、一日清々しい気分となること請け合いです。

ワルター最晩年のゆったりしたテンポで悠々と謳い上げた演奏はすばらしく、とくに第四楽章の嵐が静まり、オーボエフルートクラリネットホルンと受け継がれる前奏、それに続く牧歌は、まさに喜びと感謝の気持ちが凝縮されており、感動です。

- 第一楽章 「田舎に着いた時の嬉しい気持ち」
 - 第二楽章 「小川のほとりの情景」
 - 第三楽章 「いなかの人たちの楽しいつどい」
 - 第四楽章 「雷雨、嵐」
 - 第五楽章 「牧歌、嵐のあとの喜びと感謝の気持ち」
- (樋口 記)

今期「ブリテン図書室」コーナーに加えて「VIVA! classic」というクラシックレコードを紹介するコラムを掲載することになりました。グリーンクラブでその方面に一番造詣が深いと自他ともに認める樋口順英メンが執筆します。「本」と「レコード」の紹介を交互に掲載したいと考えております。是非、このコーナーもお楽しみ下さい。(布上)

YMCA コーナー

▼「ヒロシマ・ナガサキ原子爆弾の記録」

パネル展開催 (8/6~10)

広島・長崎原爆の日や終戦の日を迎える8月に、今一度平和の大切さ、一人ひとりの「いのち」を守るものの大切さを考える機会になればと願い、広島原爆資料館所有の「ヒロシマ・ナガサキ原子爆弾の記録」のパネル展を開催いたしました。



▼「にほんご de Cafe」プレオープン (8/25)

外国にルーツをもつ方と日本人ボランティアが気軽に話せるオープンカフェを9月から毎月第1・第3木曜日にスタートします。

それに先立ち8月25日13:30~15:30、夏まつり会場でプレオープンします。ぜひお試ください。

【場 所】東陽町コミュニティーセンター (江東区東陽)

▼災害スタディ ~防災街歩き~ (9/8)

「阪神・淡路大震災では60%以上が近所の人に助けられた。」というデータがあります。

災害が続く昨今、防災の観点からの「街歩きプログラム」をとおして地域の特性を知り、いざという時に助け合えるよう連携を深めます。

【日 時】9月8日(土) 13:30~16:00

【場 所】東京YMCA東陽町センター近辺

(江東区東陽)

▼認知症カフェ「2丁目Yワイカフェ」オープン

認知症の方とその家族、また地域の皆様が気軽に交流できるよう願い、東京YMCA東陽町コミュニティーセンターを会場として、認知症カフェ「2丁目Yワイカフェ」を新規オープンしました。

「2丁目Yワイカフェ」には、専門職の相談員がおりますので、介護の疑問点やお悩みごとなど、気になることも気軽にご相談いただけます。

また、YMCAスタッフによる健康づくり、認知症予防に役立つ体操の時間もありますので、みんなで楽しく体を動かします。

*「認知症カフェ」は、認知症の早期発見・早期対応、家族の介護負担の軽減、地域住民の方の認知症への理解を深め、地域で支えていく体制づくりを目指す江東区の補助対象事業です。(主事 木村卓司 記)